令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
1	１月	おおぞら認定こども園の園児が宇良関・美ノ海関と交流	１月６日、おおぞら認定こども園に、木瀬部屋の幕内力士・宇良関と美ノ海関が来訪しました。園児たちは、初めて間近で見るお相撲さんに大興奮。餅つきや綱引きなどを一緒に楽しみ、笑顔あふれる交流の時間を過ごしました。最後は園児手作りのプレゼントを手渡し、感謝の気持ちを伝えました。	
2	１月	はたちの集い	１月11日に文化会館アエルにて開催。 20歳を迎えた皆さんが、旧友や家族、恩人などとともに新たな門出を祝い、力強く大人への第一歩を踏み出しました。	
3	１月	ラーメンでひとり親家庭を応援	市内ラーメン店「menya787」と市の共創事業により、ひとり親家庭などに対し、ラーメン券の無料配布が行われました。地域の想いが詰まった温かいラーメンが、皆さんの元気に繋がりました。	
4	１月	菊川市市民協働センター10周年イベント	菊川市市民協働センター開設10周年を記念し、交流会が開催されました。10年のあゆみの振り返りのほか、学生による活動報告や、団体同士が強みを紹介し合うプログラムを実施。世代や分野を越えた交流が生まれ、これからの地域づくりや協働について語り合いました。	
5	２月	地域特産物を使用した新メニュー完成	菊川市保養センター小菊荘で、市地域農産物である「白ネギ」と「レモン」を使用した新メニュー「ネギージョフォンデュ」が登場。 白ネギをスペイン名物「アヒージョ」風に仕上げた一品で、白ネギ本来の甘さが際立ちます。レモンを加えることで、味の変化も楽しめます。	

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
6	２月	ベルテックス静岡とパートナータウン協定を締結	２月９日、県内唯一の男子プロバスケットチーム・ベルテックス静岡とパートナータウン協定を締結。指導者講習会やバスケットボール教室の開催、マスコットキャラクターによる観光ＰＲなど、スポーツを通じた地域活性化に協力いただきます。５月には、市内３中学校のバスケットボール部を対象としたバスケットボール教室が開催されました。	
7	２月	下前田川水門完成	本所地区を流れる下前田川と菊川本川の合流部に、堤防および水門が完成しました。国土交通省が令和２年度から着手し、およそ５年をかけて整備を進めてきた事業です。 これまでこの地点には堤防がなく、豪雨時には浸水被害が起きていました。今回の整備により、菊川本川からの外水被害を防ぐ効果が期待されます。	
8	２月	JR菊川駅新駅舎開業に向けたメッセージ	生まれ変わるJR菊川駅の新駅舎開業に向けて、駅への期待や想いを込めたメッセージを募集しました。 桜の花をかたどったカードに書かれたメッセージが改札横に掲示され、皆さんの思いで満開になりました。	
9	２月	常葉大菊川高校生徒が黒板アートで卒業生をお祝い	常葉大学附属菊川高等学校美術・デザイン科の２年生生徒が、同科の卒業生に向けて黒板アートを制作しました。 現役高校生たちの放課後をリアルに切り取るSNSプロジェクト『あの日の放課後』から依頼を受け、６日間およそ18時間をかけて完成。〝卒業〟をテーマに、桜の花と富士山で晴れやかで希望あふれる作品に仕上げました。	
10	２月	デフサッカー日本代表・髙橋遥佳選手が岳洋中学校に来校	東京2025デフリンピック日本代表の髙橋遥佳選手が岳洋中学校に来校。デフ（＝聞こえない人、聞こえにくい人）サッカーの魅力や自身の経験を手話で紹介しました。生徒たちは耳栓をつけてデフサッカーに挑戦。「声が聞こえない中でプレーする難しさ」を体感しました。応援も声ではなく、拍手を意味する手話で行いました。	

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
11	２月	小笠北認定こども園園庭完成	敷地内の旧小笠北幼稚園園舎を解体し、古くなった遊具の更新などを行った小笠北認定こども園の園庭が完成。整備にあたってはガバメントクラウドファンディングも行い、115万円が集まりました。 園庭には、ブランコやジャングルジムといった新しい遊具が登場し、園児たちが元気いっぱいに遊んでいます。	
12	３月	深蒸し菊川茶がGIアワード受賞	深蒸し菊川茶が、地理的表示(GI)制度の認知度向上を図る日本地理的表示協議会の「GIアワード(登録生産者団体部門)」を受賞しました。 GI制度の普及や地域ブランドの価値向上に大きく貢献したことが高く評価されました。	
13	３月	株式会社フェニックスとスポーツを通じた地域活性化に関する協定を締結	3月13日、プロバスケットボールチーム・三遠ネオフェニックス の運営法人である株式会社フェニックスとスポーツを通じた地域活性化に関する協定を締結。 同社はこれまでも、市内小学校でのバスケ交流会やホームゲームへの市民無料招待などを実施しており、今回の締結によりスポーツを通じたまちづくりに向け、さらに連携を深めていきます。	
14	３月	小説『幸せの黄色いポスト』コラボ看板が完成	小説家いぬじゅん氏が執筆した、菊川市を舞台にした小説『幸せの黄色いポスト』の世界を楽しみながら、市内を巡る聖地巡礼プロジェクトとして、オリジナルのコラボ看板を設置。看板は物語に登場する市内５ヵ所のスポットに設けられています。小説のカバーイラストを手がけた、つじこ先生による、世界にここだけの描き下ろしイラストと小説の関連部分の一節が掲載されています。	
15	３月	掛浜バイパス市工区(赤土高橋線)が開通	３月17日、掛川浜岡線バイパス高橋工区のうち、市工区(市道赤土高橋線)の開通にあわせ、開通式が行われました。 本線は、静岡県と菊川市が連携して整備を進めているもので、小笠地域の南北交通の混雑解消や災害時の緊急輸送路としての役割が期待されています。	

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
16	３月	静岡銀行と遺贈に関する協定を締結	３月23日、株式会社静岡銀行と遺贈に関する協定を締結しました。協定では、市が希望者に対し、相談先として静岡銀行を紹介できることや、静岡銀行が市への遺贈希望者に対し、相談内容に応じたサービス案内を行うことなどが盛り込まれています。 
17	３月	菊川駅南北自由通路・新駅舎完成	菊川駅の南北自由通路と橋上駅舎がついに完成し、３月28日に完成記念式典が開催されました。式典後には、多くの人が新しい通路を歩きながら、その便利さと開放感を体感しました。さらに当日は、市民協働の記念祭「菊駅祭」も開催。マルシェや、改札をステージにしたパフォーマンスなど、駅全体が賑わいと笑顔で包まれました。 
18	３月	交通死亡事故ゼロ1200日達成	菊川市では、令和４年12月以降交通死亡事故が発生しておらず、３月19日をもって、交通死亡事故ゼロ連続1200日を達成。県内の市として最長記録を更新しました。 これにより、静岡県交通安全対策協議会から「交通安全優良市町」として表彰されることとなり、４月10日には表彰状伝達式が開催されました。 
19	４～５月 11～12月	ザ・ロイヤルエクスプレス歓迎イベント	東急の豪華観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」がJR菊川駅に停車しました。参加者は、横断幕や旗を振って、乗客の皆さんの来訪を歓迎しました。 
20	４月～	地域おこし協力隊が中学校の総合学習をコーディネート	地域おこし協力隊の村宮汐莉隊員が、菊川東中学校と岳洋中学校の総合学習をコーディネートしています。 いずれも市内企業と中学生が協働し、菊川市の魅力の探究や再発見を目指しています。 

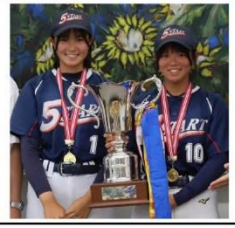
令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
21	４月	茶畑の中心で愛を叫ぶ！	４月25日、菊川中央公園で開催。萌黄色に輝く茶畑に囲まれた会場では、市内高校生やろうあ者など多くの人が感謝の気持ちや大好きな想いを大きな声で叫びました。 今年は『声』だけでなく『手紙』でも想いを届けられるよう、手作りの『幸せの黄色いポスト』を設置。来場者はその場で手紙を書き、大切な人への想いを投函しました。	
22	５月	おもちゃでみんな笑顔になろう！プロジェクト	５月１日、菊川市立総合病院の院内保育所「さくらんぼ保育室」で、玩具の贈呈式が行われました。木製知育玩具メーカーの株式会社エド・インターとジュビロ磐田の共同プロジェクトとして、見た目にわずかな傷や塗装ミスがあり販売できない木製玩具と、ジュビロチームバスのミニカーが寄贈され、子どもたちへ届けられました。	
23	５月～	田んぼアートがアプリゲームとコラボ	水田をキャンバスに見立て、色の異なる古代米の稲を使って巨大な絵を描きだす「田んぼアート」。アプリゲーム「天穂のサクナヒメ～ヒヌカ巡霊譚～」とコラボし、ゲーム内の登場人物である「サクナヒメ」と「ヒヌカヒメ」を描きました。鑑賞会の期間中は、市内外から多くの人が訪れ、写真撮影などを楽しんでいました。	
24	５月～	災害対策本部棟・堀之内体育館の工事がスタート	５月から災害対策本部棟と堀之内体育館の新築工事が始まりました。災害対策本部棟は、大規模地震や風水害に、復旧・復興の指揮を執る防災の「要」となる施設。堀之内体育館は、災害時には待機場所や代替施設として活用され、平時には市民のスポーツ・交流の拠点として親しまれる予定です。令和９年５月末完成・７月供用を目指し、工事が進んでいます。	
25	６月	静岡県消防操法大会に菊川市消防団が出場	６月14日、焼津市で開催された第39回静岡県消防操法大会の「小型ポンプ操法の部」に菊川市消防団が出場。菊川市消防団の同大会出場はじつに９年ぶりとなりました。 惜しくも優勝を逃し、全国大会出場とはなりませんでしたが、出場選手たちは菊川市消防団の代表としてベストを尽くし、日頃の訓練の成果を存分に発揮しました。	

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
26	６月	菊川市観光協会と株式会社デイトナが観光パートナー―協定を締結	６月23日、菊川市観光協会と株式会社デイトナが「観光パートナー協定」を締結しました。菊川市の魅力を全国へ発信するとともに、バイクライダーが何度も訪れたくなる地域づくりを目指し、関係人口・交流人口の創出や地域活性化に取り組んでいきます。９月13日には、菊川中央公園で「きくがわ朝活Cafe!」を市内初開催。市内外からおよそ120人のライダーが集結しました。 
27	６月	災害ボランティア用機器の拠点完成	県社会福祉協議会および県ボランティア協会が、市内の特別養護老人ホーム松秀園に、災害ボランティア活動用機器の拠点を整備しました。一輪車やスコップ、高圧洗浄機など計167点の資機材を配備。大規模災害時には、市内に限らず近隣地域でも活用されます。 
28	７月	地域おこし協力隊が発案した「菊川ウェルカムプロジェクト」がスタート	地域おこし協力隊の梅津有紀隊員が発案し、菊川市への転入者を歓迎する取組「菊川ウェルカムプロジェクト」が、７月１日から始動。転入者と市の最初の接点である転入手続きにおいて、窓口での感謝・歓迎の声掛け、ウェルカムリーフレットの配布、アンケートの実施により、新生活への安心感の提供やシビックプライドの向上、転出の抑制等を図ります。 
29	７月	熊本地震	７月28日、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生。菊川市でも、公共施設への義援金募金箱の設置や職員派遣の他、市民団体による募金活動などの支援が寄せられました。 
30	７月	きくがわ応援大使交流会inKDC,,,	７月24日、東京・新大久保のコワーキングスペースK,D,C,,,で、きくがわ応援大使や菊川市に興味を持つ皆さんを対象とした交流会を開催。特任大使のくらげ・渡辺翔太さんや、応援大使の「りんのおうちごはん」のりんさんによる活動紹介の他、菊川産のとうもろこしや枝豆、深蒸し菊川茶を使った料理を囲みながら、交流を楽しみました。 

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
31	８月	河城剣道スポーツ少年団創立40周年	８月１日、河城小学校体育館で河城剣道スポーツ少年団の創立40周年記念式典が開催されました。当日は、現役団員や指導者、卒団生、来賓などおよそ120人が出席。現役団員から指導者へ感謝状が贈られたほか、卒団生代表によるあいさつや、現役団員・卒団生による型の披露が行われ、会場は温かい拍手に包まれました。	
32	８月	合同部活動のスクールバス運行を試行	市内３中学校（菊川東中・菊川西中・岳洋中）の合同部活動で、スクールバス運行を試行しました。合同部活動とは、複数の中学校の生徒が同じ種目で一緒に活動する部活動の形態。生徒や保護者の移動・送迎負担を軽減するため、活動場所となる学校までスクールバスで生徒を送迎しました。	
33	８月	菊川名物夜店市	８月７日から８日にかけて、菊川の夏の風物詩「菊川名物夜店市」が、菊川駅南商店街で開催されました。２日間でおよそ２万人が来場するなど、両日にわたり多くの人で賑わいました。 ８日には、会場西側の菊川公園からおよそ500発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。	
34	８月	中学女子ソフトボール全国大会で市内在住選手が所属するチームが優勝	８月８日から10日まで大阪府で開催された第26回全日本中学生女子ソフトボール大会に出場したクラブチーム『５START』が、５年ぶり２回目の優勝（初の単独優勝）を果たしました。８月17日には、市内在住メンバーの山内星空さん・岩瀬眞依さんが市長・教育長を表敬訪問。２人はバッテリーとしてチームを支え、優勝に貢献。山内さんは大会MVPにも輝きました。	
35	８月	小笠地域かんがい用水群 世界かんがい施設遺産登録	加茂用水や嶺田用水などで構成する「小笠地域かんがい用水群」が、歴史的・技術的・社会的価値が認められ、世界かんがい施設遺産に認定されました。 10月には、フランス・マルセイユで認定式が行われ、大井川右岸土地改良区の太田順一理事長らが出席。先人たちの努力が国際的に評価された歴史的瞬間となりました。	

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
36	８月	ファイヤーアート	子どもたちの防火意識を育てる取り組みの一つとして、８月26日に、防火ポスター作画イベントを初開催。市内小学生が常葉大菊川高校美術・デザイン科生徒協力のもと、防火ポスターづくりに取り組みました。子どもたちはクイズなどで学んだ防火への思いを、画用紙いっぱいに表現しました。 
37	９月	小笠選抜選手団が中学親善野球大会で優勝	８月４日から５日にかけて開催された「第43回静岡県中学親善野球大会」に出場した小笠選抜選手団が、９年ぶり10回目の優勝を果たしました。 ９月１日には、菊川市在住の選手７人が教育長を表敬訪問。高校での活躍に向けた決意を語りました。 
38	９月	深蒸し菊川茶がジャパンフードセレクショングランプリ受賞	９月15日、深蒸し菊川茶が「ジャパンフードセレクション」で、最高位となるグランプリを受賞しました。 「ジャパンフードセレクション」は、一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催する食品・食材の評価・認定制度でｓ。 深蒸し菊川茶は、濃厚なうま味とまろやかな味わいが高く評価され、今回のグランプリ受賞となりました。 
39	９月	菊川市出身のお笑い芸人をきくがわ応援特任大使に任命	９月21日、市出身のお笑い芸人のスパイシーガーリック・片山智勝さんと、エリクトン・松永玲音さんを「きくがわ応援特任大使」に任命しました。今後は、昨年同大使に任命した、くらげ・渡辺翔太さんと共に、それぞれの舞台やSNS などを通して、市の魅力を全国へ発信していただきます。 
40	10月	フードリボンプロジェクト	飲食店を利用する人が購入したリボンを通じて、地域の子どもたちに食事と安心できる居場所を届ける仕組み「フードリボンプロジェクト」が始まりました。 飲食事業者の皆さんや地域住民の皆さんと共に、未来を担う子どもたちを地域全体で応援する輪を広げていきます。 

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
41	10月	市内各地で秋の祭典を開催	子どもから大人までが一緒になり五穀豊穣・無病息災を祈願する秋の祭典が、今年も各地区で開催されました。市内のあちこちで、華やかな屋台が引き回され、お囃子と威勢のいい掛け声が響き渡りました。 
42	10月	菊川西中×たこまん 中学生考案のオリジナル大砂丘	菊川西中学校生徒がたこまん小笠本店で行った職場体験で、アイデアを出し合って考案したオリジナル「大砂丘」を販売。茶畑の夕暮れをイメージし、深蒸し菊川茶クリームとみかんジャムを組み合わせた「きくちゃみかん味」に仕上げ、ポスターや商品に貼るステッカーも自ら作成しました。 
43	10月	応声教院山門で法然上人尊像を初披露	10月14日、国指定重要文化財「応声教院山門」保存修理工事現場で、解体時に発見された法然上人尊像が初披露されました。この尊像は、解体作業中、上棟式の日付が記された木札が見つかり、その中から発見されたもの。明治44年に東京の増上寺で営まれた、法然上人の七百年御忌を記念して作られたものとみられ、当時の応声教院の住職が、寺の繁栄と継承を祈って組み込んだのではないかと考えられています。 
44	10月	菊川市ご当地アイドルが菊川市社会福祉協議会アンバサダー就任	10月24日、市民総合体育館で開催された第20回菊川市ふれあい広場で、菊川市ご当地アイドル・さっきー★ミルキーメロディーＸさんの菊川市社会福祉協議会アンバサダー就任式が行われました。今後は、ＳＮＳでの発信やイベント出演などを通じて、菊川市社会福祉協議会の活動を多くの皆さんに届けていただきます。 
45	10月	灯りの散歩道ONハロウィーン	10月24日、きくる広場や菊川赤れんが倉庫周辺で開催され、1,000人以上が参加しました。会場には、竹灯籠およそ500本が並べられ、秋の夜を幻想的に照らしました。来場者は、写真を撮ったり、竹灯籠の灯りを眺めたりしながら、一夜限りの光景を楽しんでいました。 

令和８年菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
46	10月	常葉大菊川高校野球部 秋季東海大会優勝	10月28日、決勝戦が三重県・四日市市営霞ケ浦球場で行われ、常葉大学附属菊川高等学校は、日本大学三島高等学校と対戦。結果は10－３で見事勝利。19年ぶり３回目の優勝を果たしました。 来年春の選抜高校野球大会出場に向けて大きく前進しました。	
47	11月	菊川市が「街の幸福度ランキング＜静岡県版＞」で２年連続第１位に！	大東建託株式会社が発表する「街の幸福度ランキング2026〈静岡県版〉」で、菊川市が昨年に続き第１位となりました！今回の結果が、菊川で暮らす皆さんには、まちの魅力を再発見するきっかけに、そして、市外にお住まいの皆さんには、菊川の暮らしに関心を持っていただくきっかけになれば嬉しいです。	
48	11月	地区センター祭り	市内各地で「地区センターまつり」が開催されました。 地域で活動している人たちの作品展示や、ステージ発表のほか、模擬店や体験コーナーなども設置され、住民同士の交流を深めました。	
49	11月	菊川産業祭2026	およそ100の企業や団体による出店とおよそ20組のステージが会場を盛り上げました。株式会社デイトナによるバイクパフォーマンスや、お笑い芸人くらげの凱旋ステージなど、今年も盛りだくさんのイベントに！ 雨天により一部内容を変更して行われましたが、市内外から多くの人が訪れ、会場はたくさんの笑顔であふれていました。	
50	11月	11代目茶娘・２代目茶公士決定	５人の「11代目菊川茶娘」と１人の「２代目菊川茶公士」が産業祭のステージ内でお披露目されました。市茶業協会会長の市長からタスキを受け取った６人は、早速産業祭の出店ブースで、訪れた人にお茶の販売や、呈茶サービスをしながら深蒸し菊川茶のPRをしていました。	